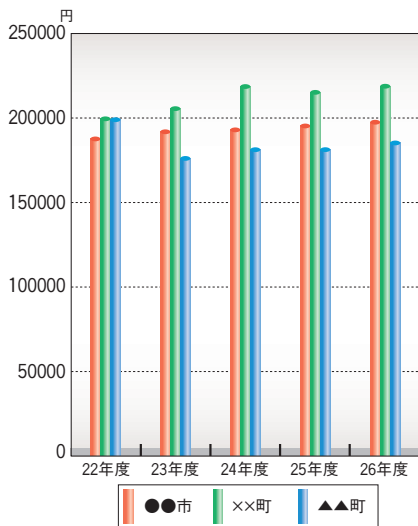


各表の説明

医療費に関するグラフ(医療費の比較・医療費の推移・三要素等)は、国民健康保険事業状況報告書(事業年報)と後期高齢者医療診療報酬等請求内訳書(年計)のデータを使用しています。

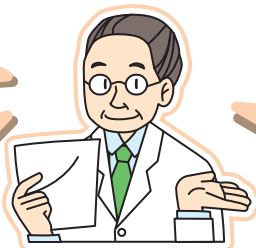
疾病に関するグラフ(多受診疾病・生活習慣病・がん)は、疾病分類統計(毎年5月診療分)のデータを使用しています。

支部1人当たり医療費の比較

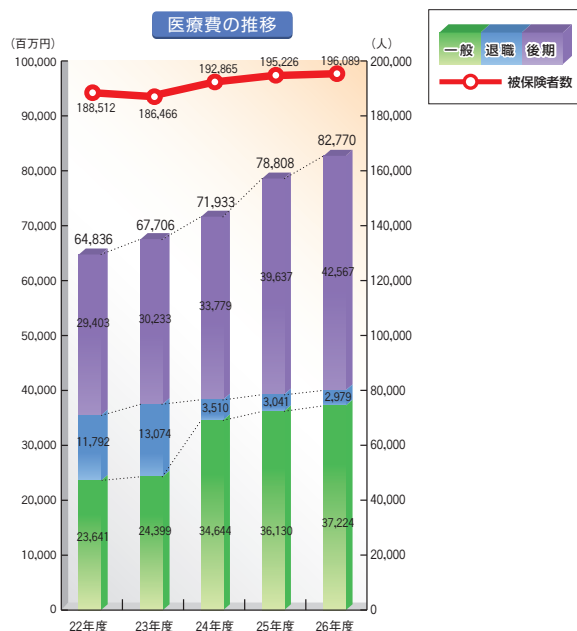


支部別の1人当たり医療費の推移を、支部管内市町で比較したグラフです。

各支部の三要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)の過去5年間の推移を支部管内市町別で示しています。



支部医療費の推移

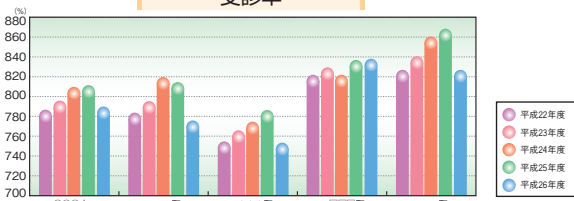


一般・退職・後期高齢者の医療費と年度平均被保険者数を、各支部に属する市町の合計で表示しています。

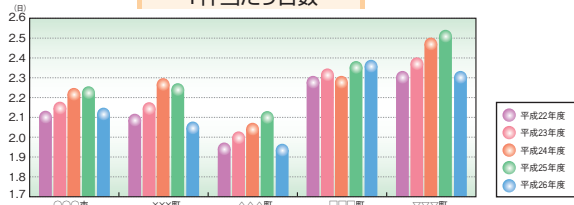
合併した市町は、過去5年間のデータを合併先の市町として作成しました。

支部三要素比較

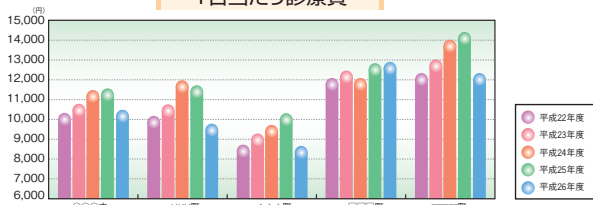
受診率



1件当たり日数



1日当たり診療費



用語の説明

一般…職場の健康保険などに加入している人と生活保護を受けている方以外の75歳未満の方です。

退職…会社を退職し、国保に加入し被用者年金(厚生年金や共済年金など)を受けている65歳未満の方とその家族の方です。*平成20年3月までで原則廃止

後期…後期高齢者医療制度対象者で、対象者は、75歳以上の方と65歳以上75歳未満で一定障害のある方(障害の認定基準は老人保健制度と同様)です。

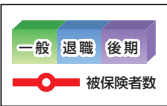
医療費…ここでいう医療費は療養諸費のことです。療養諸費とは診療費(入院・入院外・歯科)、薬剤の支給、入院時食事療養費生活療養費、訪問看護療養費、療養費(医療費)の合計です。データについては11月末時点の国民健康保険事業状況報告書(事業年報)より抽出しております。

費用額…保険給付の範囲で、病院や診療所がかかった費用のことです。また、保険者負担分、患者の一部負担金、高額療養費の合計です。

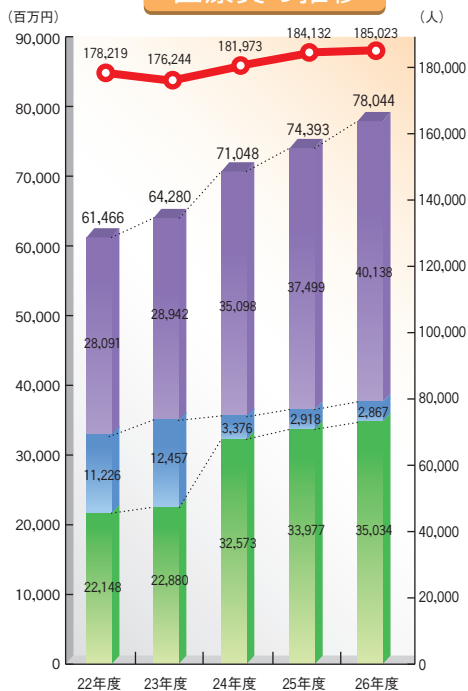
受診率…件数を被保険者数で割って100をかけたものです。

偏差値…当該地域がどの程度の位置にあるかを相対的に表した指標です。偏差値「50」が平均で、それより高ければ上位、低ければ下位に位置していることがわかります。偏差値=(得点-平均)/標準偏差×10+50

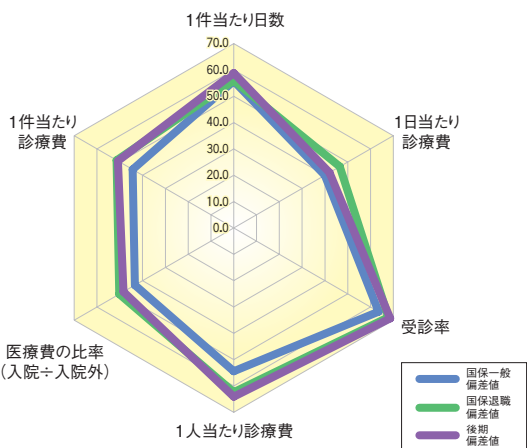
*標準偏差…データのばらつきをあらわす量。



医療費の推移



平成26年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

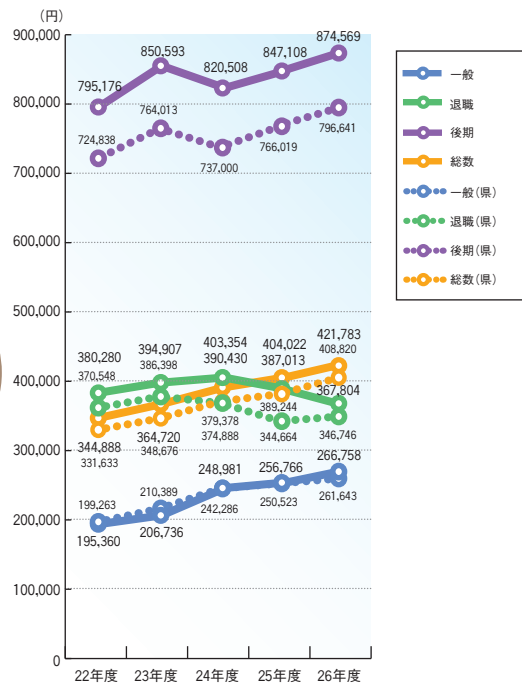


このレーダーチャートでは、全ての軸のスケールを偏差値としています。偏差値は県平均が50となり、50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになります。当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

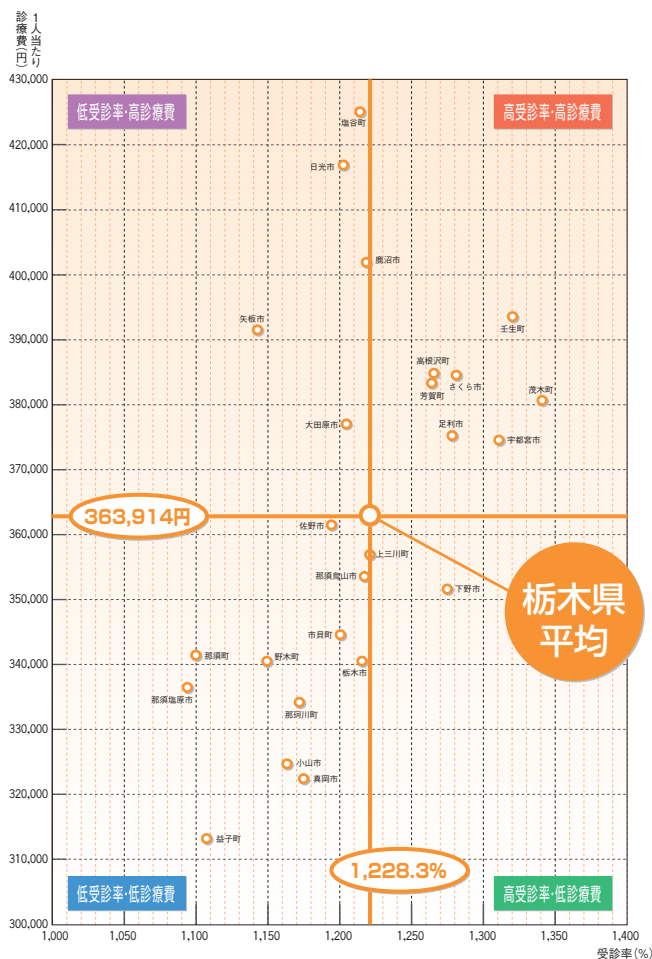
事業年報(国保一般・国保退職)と請求内訳書(後期)のデータから受診率と1人当たり診療費を算出し、相関図に表しました。栃木県の平均値に比べて、各市町の受診率と1人当たり診療費がどこに位置するのかを示しています。

1人当たり医療費の推移を、県平均と比較して示しています。

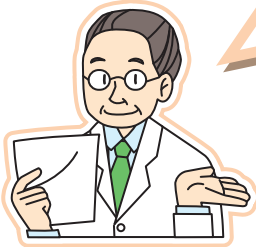
1人当たり医療費の推移



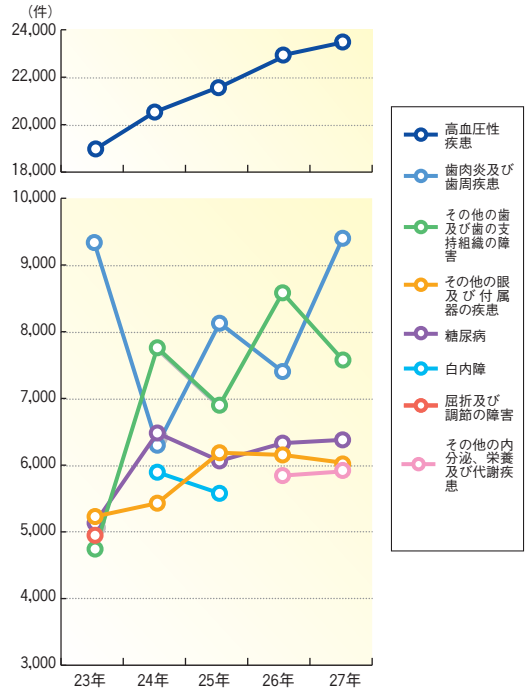
受診率と1人当たり診療費の相関図



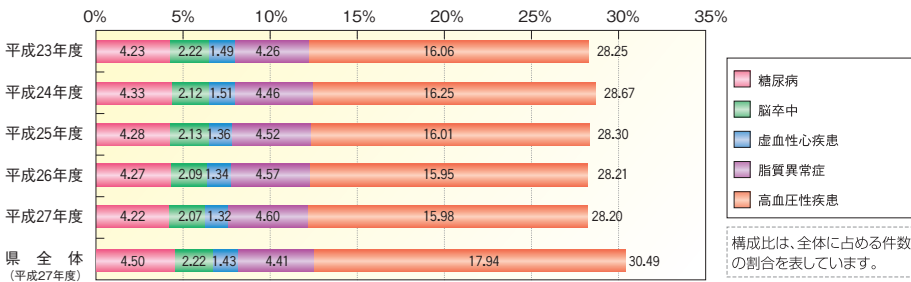
ここでいう多受診とは、受診件数の多い疾病(主病)のことで、レセプト件数のことでもあります。
 毎年5月診療分について行われる疾病分類統計データを利用して、毎年どのような疾病で受診する方が多いかを示しています。



多受診疾病上位6位の推移



生活習慣病5年間の推移 (構成比)



各市町の平成23年から平成27年の5年間の主な生活習慣病の件数の推移を構成比で表したものです。
 尚、県全体は平成27年の構成比を示しています。

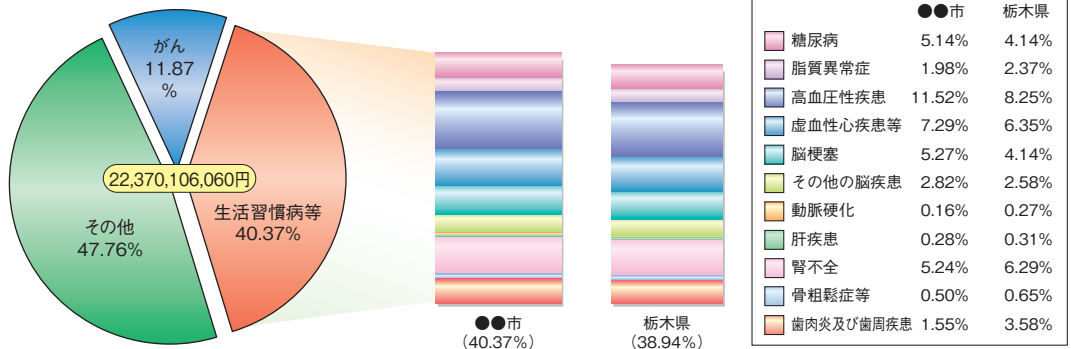
- 糖尿病…………… 0402
- 脳卒中…………… 0904、0905、0906、0907、0908
- 虚血性心疾患… 0902
- 脂質異常症…… 0403
- 高血圧性疾患… 0901

生活習慣病が全体に占める費用額の割合を示しています。

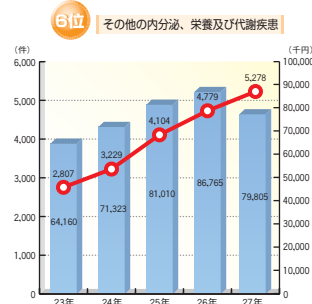
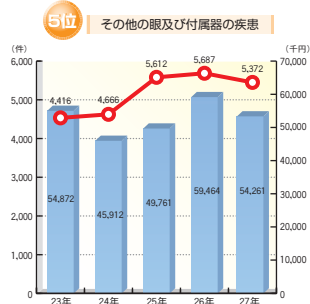
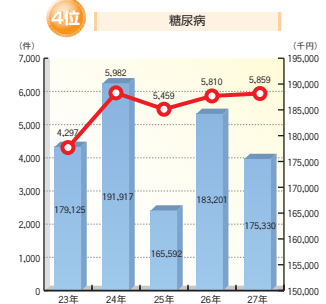
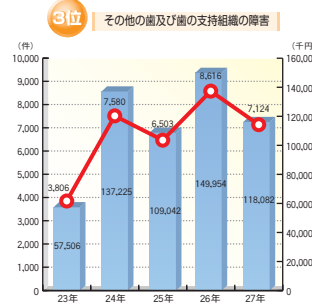
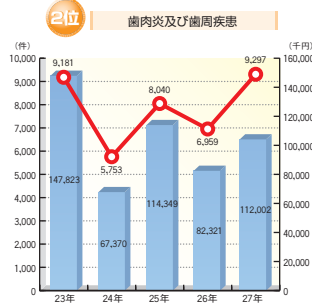
- 糖尿病…………… 0402
- 脂質異常症…………… 0403
- 高血圧性疾患…………… 0901
- 虚血性心疾患等…………… 0902、0903
- 脳梗塞…………… 0906
- その他の脳疾患…………… 0904、0905、0907、0908
- 動脈硬化…………… 0909
- 肝疾患…………… 1109
- 腎不全…………… 1402
- 骨粗鬆症等…………… 1309
- 歯肉炎及び歯周疾患…………… 1102



生活習慣病が占める費用額の割合



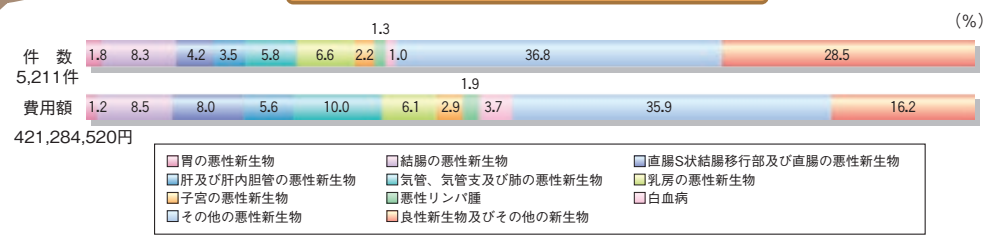
多受診疾病 上位6 の年次推移



こちらは多受診疾病がどのように推移しているかを示したグラフです。平成27年5月診療分の多受診上位6位までを基準に、件数を折れ線グラフに、費用額を棒グラフで示しています。

がんの件数と費用額のがん全体に占める割合を構成比で表したものです。

がんの件数・費用額割合 (部位別)



■ 疾病コードについて

疾病分類は世界保健機関 (WHO) により定められた「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」に準じて定められた分類です。ここでは、中分類である120分類を用いています。

- (0402) 糖尿病…糖尿病、糖尿病性腎症、糖尿病性白内障、インスリンレセプター異常症など
- (0403) その他の内分泌、栄養及び代謝疾患…脂質異常症、肥満症、アミノ酸代謝障害、脂質蓄積障害など
- (0703) 屈折及び調節の障害…遠視、近視、乱視、老視など
- (0704) その他の眼及び付属器の疾患…麦粒腫(ものもらい)、角膜炎、色盲、斜視、緑内障、眼精疲労など
- (0901) 高血圧性疾患…高血圧、高血圧性腎症、高血圧性心疾患など
- (0902) 虚血性心疾患…狭心症、急性心筋梗塞、冠不全など
- (1101) う蝕…虫歯など
- (1102) 歯肉炎及び歯周疾患…歯肉炎、歯周炎、歯周症など
- (1103) その他の歯及び歯の支持組織の障害…歯石、歯髓炎、歯の発育不全、不正咬合、顎関節症など
- (1112) その他の消化器系の疾患…逆流性食道炎、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、便秘など
- (1202) 皮膚炎及び湿疹…アトピー性皮膚炎、おむつかぶれ、苔癬、痒疹など
- (1303) 脊椎障害…椎骨髄炎、脊椎症、胸椎症など
- (1800) 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの…呼吸困難、咳、胸やけ、腹痛、多尿、腹水、チアノーゼ、めまい、耐糖能障害、老衰など